

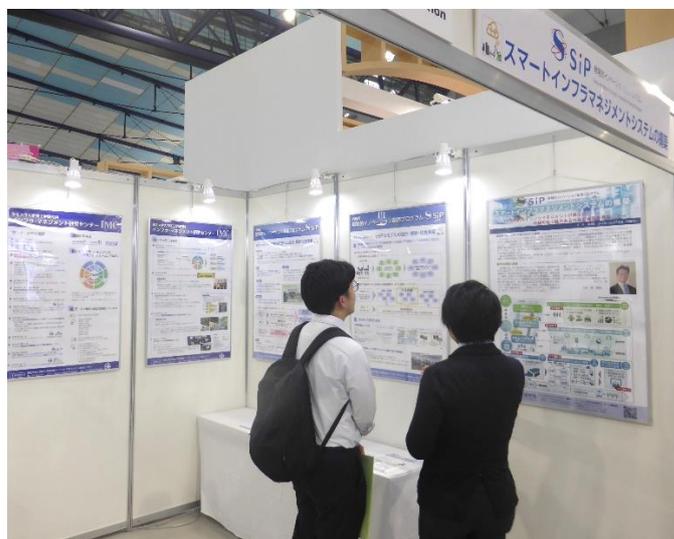


建設技術公開「EE 東北'24」

日時	2024年6月5日(水) 10:00~16:30 6月6日(木) 9:30~16:00
場所	夢メッセみやぎ (宮城県仙台市宮城野区港3丁目1-7)
内容	建設事業に係わる新技術、新工法、新材料、その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることにより、さらに新たな技術開発の促進と、良質な社会資本の整備を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的として開催する。(EE 東北 WEB サイトより)
来場者数	会場全体: 17,100人 / IMC ブース: 約 200人

東北大学インフラ・マネジメント研究センターは、昨年度から実施している内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期」での活動内容の紹介を行いました。

状況写真



ブース内の様子



展示パネル SIP プロジェクトの概要 (全体)

SIP 戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

スマートインフラマネジメントシステムの構築

～効率的なインフラマネジメントが進んだ
持続可能で魅力ある社会の実現を目指して～

SIP 第3期 2023～2027年度 (五箇年)

■国家プロジェクトで進めるSIPの概要

科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクトとして、内閣府総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野を超えたマネジメントにより、「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)」を実施します。国民にとって真に必要な社会的課題や、日本経済再生に寄与できるような世界を先導する課題に取り組むものです。令和5年度からは第3期として、14課題に取り組み、各課題を強力にリードするプログラムディレクター (PD) を中心に産学官連携を図り、基礎研究から実用化・事業化、すなわち出口までを見据えて一気通貫で研究開発を推進します。

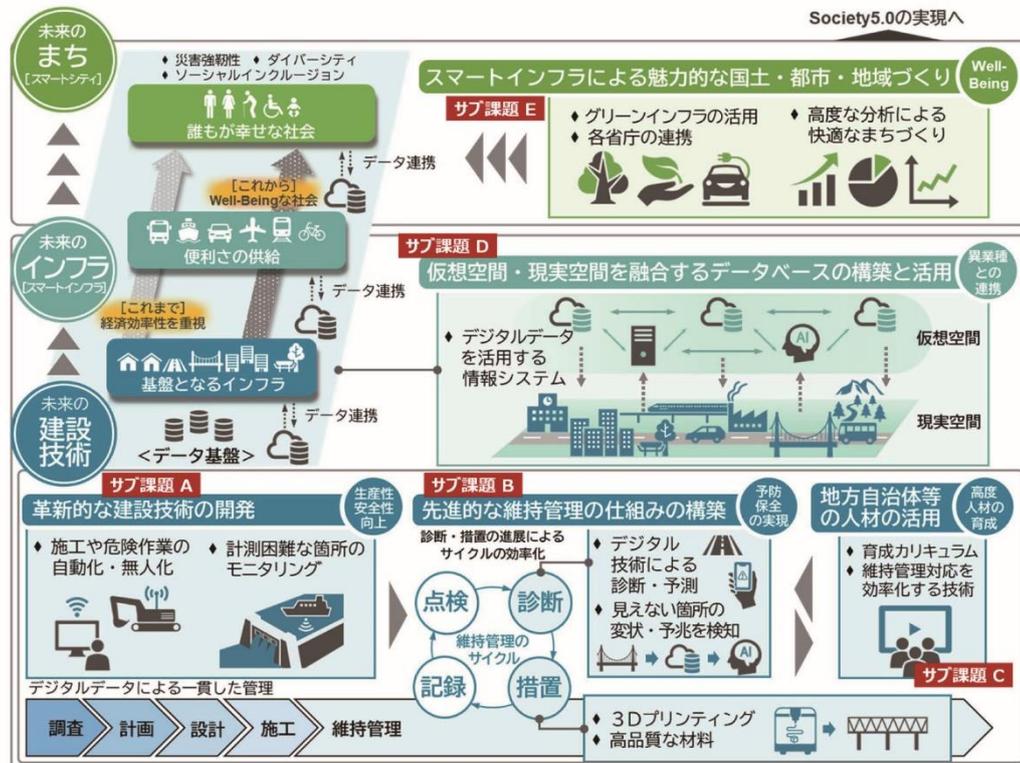
国立研究開発法人土木研究所は、SIP第3期 (2023～2027年度) の「スマートインフラマネジメントシステムの構築」の研究推進法人を担当します。

■研究課題の概要

本課題では、わが国の膨大なインフラ構造物・建築物の老朽化が進む中で、デジタル技術により、設計から施工、点検、補修まで一体的な管理を行い、持続可能で魅力的・強靱な国土・都市・地域づくりを推進するシステムを構築し、効率的なインフラマネジメントを実現するための技術開発・研究開発に取り組めます。特にSociety5.0の中核となる「デジタルツインの構築」を開発のコアとして考え、技術開発にあたっては「未来の建設技術」、「未来のインフラ」、「未来のまち」をアウトプットとして常にイメージします。

■プログラムディレクター (PD)
内閣府・SIPスマートインフラ
プログラムディレクター
(東北大学大学院 工学研究科
インフラ・マネジメント研究センター
センター長)

久田 真 教授





展示パネル SIP プロジェクトの概要

内閣府
戦略的イノベーション創造プログラム **SIP**

東北大学 個別テーマ：EBPMモデルの設計・構築・社会実装

採択課題名

スマートインフラマネジメントシステムの構築
サブ課題E「スマートインフラによる魅力的な国土・都市・地域づくり」
研究開発テーマe-2「EBPM*による地域インフラ群マネジメント構築に関する技術」

*EBPM (Evidence Based Policy Making) : 政策の企画をその場限りのエビデンスに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠(エビデンス)に基づきものとする。 (内閣府ウェブサイトより)

目的

- 地域の道路ネットワーク(市町村道、生活道路)を対象とした地域特性に応じたメンテナンス手法を構築し、モデル自治体へ導入する。

研究成果

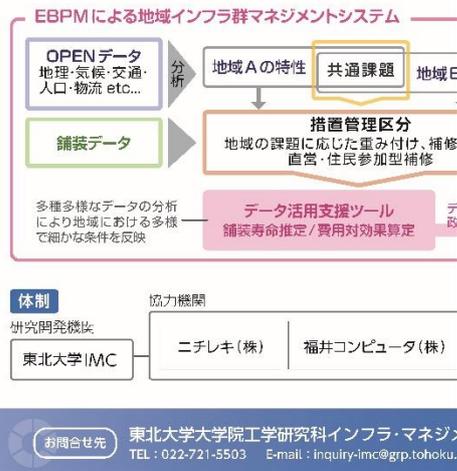
- 交通弱者の生活利便性の向上を図るなど、舗装修繕工事の優先順位の設定を可能にする。
- 産業や観光等、地域の価値向上につながる為の舗装大規模改修などの計画を可能にする。

達成目標

- モデル自治体(現時点で2自治体を予定)へ導入
- 上記自治体での実証を経て他自治体へ展開

研究内容

- データ分析による道路維持管理支援システム(別途に構築)を用いて、地方自治体におけるEBPMの実行環境を整備する。
- 道路舗装の維持管理データと地域特性データ(地理、気候、生活、文化等)の組み合わせにより、地域道路の役割を最大化するようなEBPMのユースケースを検討する。



内閣府
戦略的イノベーション創造プログラム **SIP**

東北大学 個別テーマ：EBPMモデルの設計・構築・社会実装

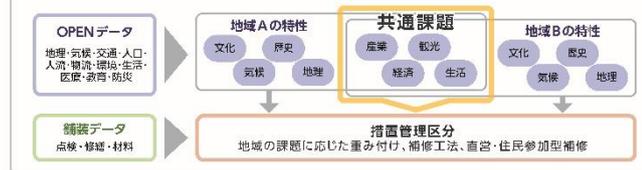
地域の道路ネットワーク(市町村道、生活道路)を対象とした地域特性に応じたメンテナンス手法の構築

EBPMによる地域インフラ群マネジメント

地域の特性に応じた道路メンテナンス



隣接する自治体における地域の共通課題解決へ向けた道路メンテナンス



自治体との意見交換会

山形県南陽市・上山市

- 第1回
日程：2024年1月15日(月)
場所：二山庁役所
- 第2回
日程：2024年2月14日(水)
場所：門脇庁役所



EBPMによる地域インフラ群マネジメント構築に関する勉強会

H：2024年4月24日(木)
参加者：秋田県秋田市長、秋田県大館市長、山形県上山市、茨城県牛久市、
鳥取県倉吉市長、津野員田市長、福井県福井市長、ニシキ(株) 代表取締役
当プロジェクトにて協力いただく自治体を対象とした勉強会を開催し、情報共有ならびに意見交換を行いました。



お問い合わせ先

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター

TEL：022-721-5503

E-mail：inquiry-4mc@grp.tohoku.ac.jp

HP：https://imc.tohoku.org/

